

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第2回）議事概要

日 時 令和2年9月9日（水）14：00～15：30

場 所 中央公民館 203、204 学習室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会长
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長
中山台コミュニティ 畑中 康治会長
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 （代理）奥野 廣明代表補佐
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長
市民協働推進課 鈴木 他
宝塚NPOセンター 馬越 他
宝塚市社会福祉協議会 牟田事務局長、藤井課長

議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和2年度・第1回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。
- 2 コロナ禍における地域活動について
 - (1) 各まちづくり協議会代表者から会議の開催、地域ごとのまちづくり計画の具体的な取り組みの実施、その他の活動において、コロナ禍の中で工夫していることや困っていることなどについて、資料に基づきご報告いただいた。
概要については、以下のとおり。
【仁川】
ア 7月、8月の活動委員会は中止。
イ 部会を開き、その中で今後の状況等について話し合ってもらい、報告してもらう。
ウ 部会を前半、後半の2部制にする。
エ 9月以降の活動の進め方について、①中止、②実施（予定）、③検討継続等に分けて確認していく。
オ 活動委員会の開催の是非、開催する場合の開催方法等について検討を行う。

【高司】

- ア ネットワーク会議を実施。行政から自粛してというお知らせが来ているため、行事等行っただけではいけないのではないかとという雰囲気強い。責任が実施した団体に来てしまうので委縮してしまっている。そのような状況ではだめではないかという意見が出ている。
- イ 3密を防ぎながらできるようなイベントを計画しつつあるところである。

【良元】

- ア ビッグイベントは原則として中止するが、コロナの動向によっては、一部分散型の小規模開催も検討する。
- イ 3密対策をしつつ、役員会及び理事会で分野ごとにまちづくり計画の課題整理を行う。
- ウ リモート会議の仕組みづくりに関して、ニーズに関するアンケートを実施したところ、10件ほど、後押しがあれば開催してもよいという感触を得ている。この点については、行政と相談しながら進めていきたいと考えている。

【光明】

- ア 8月に見直し後のまちづくり計画を地域内すべての世帯(約2,200世帯)に配布し、4つの班に分かれて説明会を計画しました。コロナ禍での会場設営についてどこまで配慮すべきか戸惑いながら開催した結果、参加人数は低調であった。安心しつつも、周知の方法や地域の声の収集について、改めて検討しなければいけないと考えている。他のまちづくり協議会の取組を参考にしたい。

【未成】

- ア 基本的には、感染症予防対策を実施した上で、通常通り会議やイベントを実施している。
- イ 夏休み宿題広場の実施に当たっては、参加人数を事前に把握した上で、4部屋を確保し、換気の時間も設けた上で実施。
- ウ 地域食堂については、その場で一緒に食べることはやめ、パン・ジュース・ゼリーを配布し持ち帰る形とした。
- エ 小学校の体育館や運動場の利用について、教育委員会が登録団体以外に貸さない方針を取っているため、3密を避けるために広い場所でイベント等を行うことができず、まちづくり協議会の活動の妨げになっている。9月中には結論を出すということを教育委員会は言っている。早期に結論を出してほしい。まちづくり協議会としては年間計画を立てて活動しているため、教育委員会から代表者交流会で事前に説明があつてしかるべきである。市民協働推進課にもその点お願いしたい。

【西山】

- ア 7/8(水)に総会を実施した。
- イ 運営委員会は、5月は中止したが、その後はできるだけの対策をした上で実施している。
- ウ 介護予防体操教室は人数制限を行っている。
- エ コーラス活動については、ハミングで実施する予定であったが、距離を取った上で歌うこととなった。
- オ 可能な感染症対策を講じながら、できることを再開していくという立場でやっている。
- カ 防災の取組で参考になることがあれば教えていただきたい。

【未広】

- ア 防災訓練、夏祭り、ビアガーデンは中止。
- イ 各部長に集ってもらい、問題点を共有した。
- ウ 福祉健康部は全行事の実施を断念した。
- エ 第一部も見通しが立っていない状況である。
- オ 小学校6年生を送る餅つきについても、実施は難しいと感じている。
- カ 夏祭りは行わないが、これまでの課題であった祭りで使う照明について電気屋と話し合いながら検討を行っている。

【宝塚第一】

- ア 第6次総合計画の前年として、地域ごとのまちづくり計画の新規テーマについては活動の企画立案を進める。継続テーマに関しては、地域団体、住民とより一層連携を深めるための活動を実施中である。
- イ 年度計画を作成する段階で、まち協全体行事（夏まつり・合同防災訓練）を中止としたが、部会及び部会間の協力で小規模行事を実施中。
- ウ コロナ感染症防止を考えた地区防災委員会の開催を考えたり、防災学習会を3回ほど計画することで進めている。
- エ 役員会などの会合時間の短縮を行っている。

【逆瀬台】

- ア コミュニティルームが小学校の校舎の中にあることから、施設利用について子どもに影響が及ぶ可能性を最大限排除するため、必要以上の自粛体制を取ってきた。
- イ 役員会議については、2/2（日）以降自粛し、4月の定時役員会総会、6月の役員会は書面表決を行った。第1回の役員会は8/2（日）に実施した。3密を考慮し、地区のマンション集会室の中で最大の広さを持つグリーンハイツさんに会場借用をお願いし、窓を開け、手の消毒、検温、マスク着用をした上、会議時間も短縮して実施した。今回は10/4（日）に役員会及び「まちづくり計画」のソフト面の「見守り」をテーマに福祉ネットワーク会議を実施予定。
- ウ 広報誌「ゆずり葉だより」については、4月号、7月号を発行済。10月号を編集途中である。
- エ 地域の活動については、6月に各活動団体責任者にアンケートを実施し、今年度の活動状況と今後の見通しを調査し、5役会で検討、役員会で承認を得て、各活動団体への支援を実施した。中止になった大きなイベントの余剰金の取り扱いについては市民協働推進課に相談予定。
- オ テレビ会議がうまくいくのであれば、Zoomを使うなど模索していきたいと思っている。

【すみれが丘】

- ア 6月からテレビ会議を利用して運営委員会を始めた。テレビ会議に不慣れな方は、会議室に集まっただき、慣れている方はテレビ会議で参加してもらうなど方法について試行錯誤した。今月から併用して実施できると考えている。
- イ テレビ会議の問題点として感じたのは、誰かがアカウントを取らなくては行けないが、会議時間無制限とするには有料アカウントが必要であり、支払い方法もクレジットカードとなること。また、会議室にネット環境が必要であるが、これも支払いがクレジットカード必要。レンタルもあるが非常に手間がかかる。加えて、オンラインで喋っている人の声と会議室で喋っている人の声をすべて聞こえるようにするのが非常に難しい。また、会議のホストとしてスキルのある方はまだいない状況である。
- ウ 諸活動については、実施可能なものについては、対策を取った上で実施している。活動や参加の機会が減少しており、高齢者の生活不活発病が心配。
- エ まちづくり計画については、毎月運営員会で報告を行っている。

【宝塚】

- ア 4月以降活動は中止している。5月の総会は書面表決を実施。10人以下の少人数で密にならない執行部会議は毎月行っている。
- イ まちづくり計画の企画部分については進めている。
- ウ 会議室に網戸、消毒液、大型空気清浄機、名前・連絡先・体温を記入してもらうシートを設置。また、非接触体温計の購入も行った。このように環境が整ったので、9月から注意しながら活動を再開する。

【売布】

- ア 年度初めに、今年度の活動・イベントは原則中止とすることを決めた。一方でこれまでの活動・イベントを見直すこととなった。

- イ 会議については、8月の定例役員会を Zoom を使ってオンラインで開催した。オンライン会議の長所短所を検証中である。個人の費用負担が生じることをどうするか、また、役員にタブレットを渡すかなど模索している最中である。

【小浜】

- ア 6月まで活動は中止。
- イ 小浜まち協会館では、サーキュレーターや空気清浄機の設置、設置していたタオルの撤去等行った上、利用者は利用者名簿の記入及び机等必要な物品の消毒を行う形を取り、6月以降各部活動を実施している。
- ウ 11/29（日）に規模を縮小した上で、水害に特化した防災訓練を実施する。

【美座】

- ア コロナについては経験のないことで見通しが立たず状況判断が難しい。いつも使用している拠点も狭いため、人数を半分にしてしまうと使用するの難しい。活動はストップしている。
- イ 会議についても月1回実施することになっているが、状況を見ながらどうするか検討していく。
- ウ オンライン会議については、達者な人に限定されてしまうため、今できることとしては広報と考えている。広報誌において地域の人が興味を持つような啓発のようなものを皆で吟味しながらやっていきたいと考えている。

【安倉】

- ア 役員会、運営委員会は通常どおり開催している。役員会は人数少ないので全員出席であるが、運営委員会は各自治会の役員や各団体の代表者の方が密にならないか心配されて出席者が少ない。
- イ イベントはほとんど中止にしている。
- ウ コロナだからといって何もしないというのもいけないと思う。皆さんと一緒に顔の見える環境づくりを目標にこれからも進めていきたい。
- エ 総合福祉センターの大ホールを借りて、展示会を実施することを検討している。

【長尾】

- ア 役員会は4月までは実施したが、5、6、7月は実施しなかった。
- イ 夏祭りは中止。その代わりに、東公民館で8/8（土）にミニフェスタで輪投げ、魚釣りゲーム、人形劇、紙芝居等を20～30人程度ずつに分けて実施した。
- ウ 秋祭りについては9月の役員会で開催の有無を決定する予定。
- エ 総会は書面総会で行った。

【中山台】

- ア 12月までの定例行事は中止。また、それぞれの自治会の祭り関係も中止になっている。
- イ 7月からの定例会議については、まちづくり計画やコロナ禍における災害対策計画が大事であることから、広い部屋でマイクを使用するなどコロナ対策を実施した上で毎月開催している。

【山本山手】

- ア 会議は、小規模で窓を開放して実施。また、Web会議、メールのやり取りの会議なども行っている。
- イ 総合防災訓練について、今年は、役員のみで防災備品のチェックを行おうと考えている。
- ウ 山手台中学校と行っているあじさいロードの清掃については、今年は中学校は参加せず、地域住民だけで行っている。
- エ どんど焼きについては、例年、1月の第2週の土曜日に凧揚げや餅つき、ぜんざいの配布とともに行っていた。今年はそれらを実施せず、どんど焼きだけを実施できたらいと考えている。ただ、小学校のグラウンドが使えないということになると実施そのものができなくなるので、グラウンドの件については小学校と相談したいと思う。

【長尾台】

- ア 総会は書面表決で実施。お祭りも中止。
- イ 運営委員会も基本的には中止している。各種の部会や役員会については、消毒を行い、出席者名を参加者記載用紙に記載いただいた上、実施している。実施方法について他にどのような方法があるかご指導いただけたらと思う。

【西谷】

- ア 本年度の全体会議は現在までに2回実施。西谷会館夢プラザのプレイルームという広い部屋にて、コロナの感染状況に留意して開催している。
- イ イベントはすべて中止している。
- ウ 小委員会を開催し、移住の受け皿づくりの勉強会を行ったりしている。
- エ まちづくり計画の進捗状況を検証する3つの専門部会（①安心・安全、②文化・教育、③産業・環境）をこの秋に立ち上げて検証を行っていく。

(2) 意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ア 先ほどの末成まち協からの報告でもあったが、コミュニティで学校の施設を使っているところは多い。まち協から学校に聞いてから学校の施設が使えないと分かるという状態ではまずい。市民協働推進課からどういう状況になれば学校が使えるようになるのか発信してほしい。分かり次第、電話でもFAXでもなんでもよいのでご連絡いただきたい。
- イ (市) 現在、まちづくり協議会等の団体の運動場や体育館の利用については、一律にご遠慮いただいている状況であり、その解除については、現在検討をしているところであると担当課から聞いている。ただし、どの段階で解除されるかは明確にはなっていない。
- ウ コロナ禍においては、避難所に5世帯しか入れないと聞いた。現状どのような状況になっているか調べてご連絡いただきたい。
- エ (市) 改めてご連絡いたします。
- オ 教育委員会の施設課にお願いしたのは、この20年間まちづくり協議会は学校の施設を使って活動してきたので、まちづくり協議会が学校の施設を使って活動することは十分分かっていること。まちづくり協議会が年間計画を立てる中でどの施設を使うかということは分かっているはず。そのような中で教育委員会が決めたことがまちづくり協議会に伝達されないということは、協働のまちづくりの観点から言うと少しおかしいのではないか。一方で、社会教育の登録団体については既に利用している。このような状況下でまちづくり協議会が利用できないというのも理屈に合わない。庁内で調整しながら管理担当部門がまちづくり協議会代表者交流会に出てきて説明してしかるべきではないか。
- カ 8/19(水)に五月台中学校で体育館を借りて何世帯が入れるか実寸を測ってみたところ、20世帯しか入れないことが分かった。災害対策も含め、学校に関する情報を早急に各まち協でつかんでおかないといけない。早急に情報提供いただける形になるようお願いしたい。
- キ 教育委員会の方針を確かめていただくということでお願いいたします。

3 令和2年度赤い羽根共同募金ご協力のお願いについて

社会福祉協議会から、配布資料に基づき、上記募金のご協力について説明があった。

4 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(7)について、資料を用いるなどして周知があった。

(1) まちづくり協議会代表者宛て文書の送付方法について

- 市民協働推進課から各代表者宛て文書について、メール送付を希望することも可能である旨周知。

(2) まちづくり計画の配布について

- 本日、市印刷分について配布を行う旨周知。
- (3) 部会活動への市職員の参加について
- (4) 「緑の募金」へのご協力について
- (5) 子育て支援グループ活動促進事業助成金の募集について（お知らせ）
- (6) 宝同協だより「芽生え」について
- (7) Zoom を利用したまちづくり協議会代表者交流会の実施について
 - 代表者交流会を Zoom で開催できるか検討を進めていく旨周知。また、代表者交流会で実施する場合には、事前に Zoom に慣れるための研修会等も行いたい旨周知。
 - 「環境が整っていないから実施しないのではなく、市民協働推進課が実施できる環境を作っていく必要がある」旨のご意見あり。

5 その他

まちづくり協議会代表者から、公共施設の適正化及び太陽光発電に関する内容について、情報共有された。

6 今後の日程

次回日時：令和2年（2020年）10月14日（水）14：00～15：00

場 所：中央公民館 203-204 学習室